



小学校外国語活動での留意点

小泉 仁

2022年11月30日 練馬区小学校英語教育研究会



「知識・技能」

Question 1: 聞いて理解するだけで知識が身につくだろうか。

Question 2: チャンツは技能のための練習なのだろうか。

Question 3: 文を語の集まりとして理解するのだろうか。



「思考・判断・表現」のためには

「意味」が解ることだけでなく、
「使用場面」がわかること、
「相手の意図」がわかること。

例えば、**What's this?** はどんな場面で、どんな意図で使うのかを考えてみましょう。

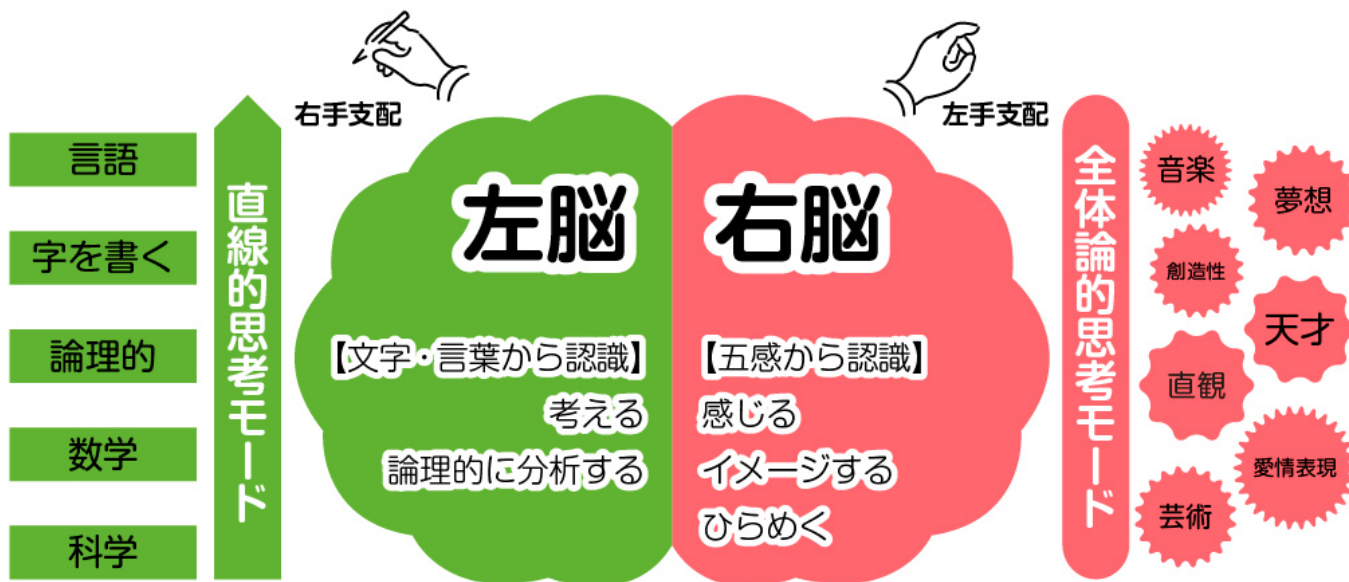


What's this? の「はたらき」とは

- 未知のものについて情報を得るため
- 予想と違うものが出されたため
- ショックを受けたことを示すため
- 当惑していることを示すため
- 叱るため
- 外国語の単語を教えるため

3・4年生の脳

具体的操作期から形式的操作期へ移行する前
脳の機能分化と左脳の発達は10歳くらいから始まる



<http://adf-jp.com/column/index.html> より

第2言語習得・3つの仮説など

- インプット仮説
 - アウトプット仮説
 - インタラクション仮説
-
- ◎ 豊富で理解可能なインプットが吸収される。
 - ◎ 子どもは自分の中で規則を作り、使って試す。
 - ◎ 間違えるのは自然なこと。



チャンツは“口慣らし”に過ぎない！



이건 뭐예요?



이건 뭐예요 ?

이건 사과이에요.





이건 뭐예요 ?



이건 뭐예요 ?



이건 뱀이에요.

意味が曖昧なままリズムカルに繰り返しても、それは技能となるか？



Three-hint Quiz

発達段階に応じた扱い

- 3・4年生に相応しい作問のさせ方
限られた語彙での作問だが、教科書の枠を超えてよい。
タブレットをペアの相手に見せる工夫を。
- 5・6年生に相応しい作問のさせ方
出題範囲を自由にする、ヒントの順序を考えさせる、など。



発音とプロソディの指導

- 「正しい英語の発音ができるようになる」は小学校学習指導要領の目標にはないこと。
- 発音の指導はすることが望ましいこと。
- 「聞くこと」が大きな役割を持っていること。
- 自分で発音してみる機会を多く与えること



リピート練習 (oral drill)

- 少なくとも2回、モデルについてリピートさせる
- 3回目は、モデルなしで言わせる
- モデルの直後に発音することが大切
- “One, two!” など声での合図はしない
- しっかり声を出すように励ます
- 有意味な文脈を用いる (meaningful drill)
- 可能な限り教員の生の声で指導する



Thank you very much for *listening*.

